

税理士会の要望実現のために活動しています

近畿税政連

平成28年(2016年)

8月10日

第218号

発行所 近畿税理士政治連盟
発行人 久保直己/編集人 小川由美子

〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 電話(06)6944-9040 FAX(06)6944-9050 URL <http://kinzeisei.jp/> e-mail info@kinzeisei.jp



真夏の象徴（兵庫県淡路島）

撮影：辻 智昭（奈良支部）

| | |
|-------------------------|---|
| ■ 第24回参議院議員通常選挙結果 | 2 |
| ■ 第50回定期大会のお知らせ | 6 |



平成28年度税制改正で「医療費控除の特例」が創設された。従来の医療費控除については、所得金額が200万円以上であれば年間支払医療費が10万円を超える金額を所得金額から控除できるというものである。

これに対して新設された医療費控除の特例は年間10万円以下の医療費の支出であってもスイッチOTC薬の購入費であれば年間1万2千円を超える金額が所得控除できるというものであり、納税者にとって10万円以下でも控除の道が開かれたということになる。

このスイッチOTC薬とは、一般的には調剤薬局や薬店などで処方箋なしで買うことができる薬のことで、調剤薬局などで薬剤

新しい医療費控除

師等から適切な情報説明を受け、自己責任のもと本人が購入する薬である。例えば、「イブプロフェン」などの解熱鎮痛薬や、「H2ブロッカー」などの胃腸薬などがあげられるが、この新制度に対して所得控除の拡大という面がある一方、納税者を市販薬へと誘導し、安易な自己判断による病氣治療を行う事になるのではないかという問題もある。

毎年、医療費控除を利用する納税者は多数存在する。新制度は従来の医療費控除との併用はできず、選択制になる。従来の医療費控除とするか新制度の医療費控除とするか、その選択は実務上難しい問題となる可能性も残している。

なお、この新制度は平成29年1月以降5年間の時限立法である。

後援会ニュース

おだち源幸後援会

税理士によるおだち源幸後援会の定期総会が、2月5日、帝国ホテル大阪において開催された。

来賓として尾立源幸参議院議員、久保直己近税政会長、大阪府支部連から今井基剛第1支部連会長、神吉康史第2支部連会長、金子薫第3支部連会長、石津良行第4支部連会長、北野信成第5支部連会長が出席した。



道廣友厚副幹事長の司会で開会宣言があり、河田秀雄後援会会長が「今年は参議院改選の年にあたる。尾立議員の当選に向けて、危機感をもってご支援して頂きたい」とあいさつをした。雪松弘副会長が議長となり、慎重審議の結果、全議案が原案通り可決承認された。

次に来賓を代表して久保近税政会長からの祝辞に続き、尾立議員には要望項目の実現にご尽力頂いたお礼と、単一税率の維持は税制改正大綱では叶わなかったが、今後も引き続きの陳情を続けて行きたいとあいさつがあった。

引き続き、国政報告会があり「おだちが実現したいこと」と題して、①改革はするが、戦争は絶対しない②子供・若者の未来を優先する③大阪をアジアの玄関口にすると3項目をあげ、大阪を元気にするために「税理士党の一員」として頑張っていくと力強い言葉で述べた。

その後、懇親会が開催され、尾立議員と和やかに歓談し、終了した。(住吉支部 仕田原恒雄)

吉田おさむ後援会

5月23日、ホテルグランヴィア大阪にて、定期総会が開催された。来賓として吉田おさむ元衆議院議員、井戸本泰次近税政副会長、河田秀雄近税政副会長が出席した。



高島正彰会員の司会により開会し、脇阪説男会長が「税理士会の建議が実現するようになったのは10年程前からで、これは税政連の活動の成果であり、また吉田元議員が在任中に要望実現へご尽力いただいた結果である。そして中小企業支援機構では税理士の活躍の場を作っていた。これからも吉田元議員を力強く応援していきたい」とあいさつした。

次に、議長に田中保雅副幹事長が選任され、全ての議案が審議され可決承認された。

続いて、井戸本副会長が「経済産業省、特に中小企業庁にパイプがなかった税理士会だが、現在では中小企業庁の委員に税理士が指名されている。これもひとえに、当時、経済産業委員長であった吉田元議員のお力添えがあり実現したことである。吉田元議員には再び国政の場へ戻っていただきたい」と祝辞を述べた。

引き続き、吉田元議員が「時局を読む」というタイトルで、参議院選挙・消費税増税・解散権・安保法制など多義にわたる内容で、現在の世の中の動きや問題点を興味深く述べた。

その後の懇親会は、吉田元議員を囲み終始和やかに行われた。(生野支部 小川由美子)

北側一雄後援会

日時 平成28年 6月10日
 場所 ホテル・アゴーラリージェンシー堺
 来賓 北 側 一 雄 衆議院議員
 石川ひろたか 参議院議員
 協 阪 説 男 近税政副会長
 後 安 宏 彦 近税政副会長



司会による開会宣言で始まり、竹内芳彦後援会会長より3大ニュースの紹介があり、健康が第一との言葉で締めくくった。次に石川議員があいさつに立ち、大阪のため、国のために引き続き頑張っていきたいとの力強い決意表明があった。

議長に池田茂雄前会長が選出され、直ちに審議に入り、全ての議案が全員賛成により可決承認された。

続いて、来賓の協阪副会長から、税政連会務運営に対してのお礼と今後のご支援をお願いしますとのあいさつがあった。

引き続き、北側議員による国政報告へと移り、6月1日の総理大臣の記者会見のポイント、構造改革を断行し、財政健全化目標を堅持するため消費税率引き上げを延期する等の説明があり、大会は終了となった。

次に、意見交換会へと移り、後安副会長より「貴後援会は北側議員と会員とが本当に良い関係を築きあげている」との開会のあいさつと乾杯によって開始となり、議員と会員は親しく和やかに懇談され、盛会裏に終了となった。

(堺支部 東俊夫)

伊吹文明後援会

日時 平成28年 6月18日
 場所 京都ロイヤルホテル&スパ
 来賓 伊吹 文明 衆議院議員
 浅田 恒博 近税会会長
 久保 直己 近税政会長
 井戸本泰次 近税政副会長
 田 達満 近税政幹事長
 原 綱宗 近税政総務会長



司会の松村一郎後援会幹事長が開会を宣し、来賓紹介の後、北條巖後援会会長があいさつし、伊吹議員にこれまでの感謝の辞を述べた。

伊吹議員は今回の参議院選挙における国民の関心事は消費増税先送りによる社会保障に対する不安感と景気動向であると述べた。

また、消費増税により消費の落込みをいかに防止するか、また消費増税しないと年金・医療・介護費用の増大を賄えないと経済情勢を述べた。

税の逆進性を緩和する軽減税率の導入は時代に逆行するものであり、消費増税延期は次世代への問題先送りであり賛否両論があるが、どのような政策が正しいかは国民の価値観・現状認識により決まると最後に述べた。

来賓あいさつとして、久保近税政会長が消費税単一税率の維持及び増税後に過重負担とならないよう建議要望を続けると述べた後、懇親会が開催され、田幹事長の乾杯により伊吹議員と出席者が和やかに懇談し、井戸本副会長の中締めにより閉会した。(上京支部 東智之)

盛山正仁後援会

日時 平成28年6月18日
 場所 神戸精養軒本店
 来賓 盛山正仁 衆議院議員
 徳富 勲 近税政副会長



税理士による盛山正仁後援会の年次総会が開催された。

山本勝美副会長の司会で開会が宣言され、赤井義宏会長より「盛山議員の後援会の輪を広げていき、議員をさらに盛り上げていきたい」とあいさつがあった。

次に、長谷川隆史副幹事長が議長となり、議案は原案通り可決承認された。

続いて、盛山議員より「現在、法務副大臣兼内閣府副大臣に就いて職務に専念している。皆様のご支援に応えられるように頑張りたい」とあいさつがあり、消費税率の引き上げ延期に伴い、関連する法律の国会審議や税制改正の動きなどについて説明があった。また、駅での街頭活動や、日頃の議員の活動などについても報告があった。

次に、徳富近税政副会長より「税政連の役割についてご理解をしていただき、未納会員の会費納入をお願いしたい。また、消費税率の引き上げは先送りとなるが、あくまでも単一税率は主張していきたい」と述べ、総会は終了した。

引き続き、懇親会が竹中征二郎会員のあいさつで開催され、歓談も和やかな内に、蟬川寛嗣会員のあいさつで閉会となった。

(西宮支部 森本幸子)

左藤章後援会

平成28年6月22日、天王寺新宿において税理士による左藤章後援会の総会が開催された。鮎川純利会長が開会のあいさつをした後、平成27年度活動報告、平成27年度収支決算、平成28年度活動方針、平成28年度収支予算が順次可決承認された。



左藤章 衆議院議員

この総会には鮎川会長を始め、阿倍野支部・東住吉支部の会員が多数出席した。近税政からは井戸本泰次副会長、田達満幹事長が出席した。

総会に続いて左藤章衆議院議員が国政報告をし、イギリスのEU離脱問題、中国経済の状況、日本を取り巻く現状の安全保障など、時宜を得たもので、衆議院安全保障委員長として世界情勢の厳しい認識を披歴した。参議院選挙1人区が厳しいということ、また大阪選出の議員として大阪の県民所得の下落が憂うべき状態にあること、公認会計士協会との業際垣根の問題について、税理士側に立った話などをした。

いずれも左藤議員の人柄が滲み出るような話しぶりで、出席者一同、真摯に聞き入った。井戸本副会長があいさつをし、左藤議員に対して全幅の信頼を表明するとともに、会員増強を進めていただき税理士による左藤章後援会のますますの強化をお願いしたいとの期待が寄せられた。

総会終了後、懇親会が開催され、和気藹々と盛会のうちに終了した。

(天王寺支部 倉矢勇)

安藤裕後援会

税理士による安藤裕後援会定期総会が、6月25日からすま京都ホテルにて開催された。

来賓として安藤裕衆議院議員、西田昌司参議院議員、近税政より久保直己会長、笹岡憲一副幹事長、京都府支部連より室谷澄男会長が出席した。

熊谷宏臣幹事長の司会により、開会が宣言され、来賓祝辞として、西田議員より「税理士という立場で正義感を持って国政の中心で活躍し



ていかなければならない。日本の国家がよくなるために安藤議員を支援して欲しい」とのあいさつがあった。

片野晏弘後援会長より「これまでの感謝とともに、今後とも安藤議員を支援していくことを願う」とのあいさつがあった。

次に、議長に片野会長が選出され、議事に入った。議案はすべて原案通り可決承認された。

続いて、安藤議員より「世界でさまざまな問題が起こっているが、日本の経済を冷え込ましてはならない。中小企業のみなさんと一緒に幸せになれるようにしっかり考えていきたい。皆様の意見を国政にとどけるために尽力したい」とあいさつがあった。

最後に熊谷幹事長による閉会のあいさつの後、定期総会は終了した。

引き続き、懇親会が開催され、盛会のうちに閉会した。

(中京支部 久乗一姫)

近畿税理士政治連盟 第50回定期大会

日時 平成28年9月9日(金)13時～

場所 帝国ホテル大阪

※詳しくは、別紙の案内をご覧ください。

トップを飾る写真を募集しています



近畿税政連では、①近畿税理士政治連盟HP (<http://www.kinzeisei.jp/>)のトップページの写真、②近畿税政連の機関紙の表紙写真を募集しています。

テーマは、①HPの写真は近畿地方のお城の写真です。②広報紙の表紙写真は自由です。

トップを飾るふさわしい写真をお待ちしております。

※作品の著作権は近畿税理士政治連盟に帰属し、利用させていただきます。 ※作品は未発表作品に限ります。

○応募先○

- メール(データ)で提出される場合は、「作品と名前・支部名・登録番号・写真タイトル」を記載の上、info@kinzeisei.jpまで送信してください。
- 現像で提出の場合は、作品裏に「名前・支部名・登録番号・写真タイトル」を記載の上、下記まで送付してください。

〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 近畿税理士会館5階 近畿税理士政治連盟 広報委員会 行き

鉄道マニアのひとりごと

鉄道マニアには、いろいろなタイプがあり、乗り鉄、撮り鉄、時刻表鉄等があるが、私はこの中で、時刻表鉄に属しているといえるが、毎月には買わない。信条は「より安く」であって、新幹線や特急列車はできるだけ避けて、普通各駅列車で効率よく旅をすることを目標としている。

毎年10月の「鉄道の日」にちなみ、3千円で「JR西日本一日乗り放題きっぷ」を買い、時刻表を駆使して、早朝一番列車から終電までいろいろなルートを探検してJR西日本の路線を制覇しつつある。今まで制覇した地域は、西は山陰本線益田駅、東は北陸本線親不知駅、南は紀勢本線新宮駅、その他中国山地横断路線などこれまで10ルートを考えて。時刻表鉄の楽しみの一つとして計画段階にあると言っても過言ではない。計画を立て、それを実行する。

昨夏、初めて「青春18きっぷ」を買い「ムーンライトながら」で東京から盛岡・秋田・青函トンネルを通過して函館まで往復した。もちろん各駅列車で5日間をかけたの旅だった。一方、鉄道ゲージ幅に興味があり、秋田山形新幹線・青函トンネルでは標準軌、在来線は従来の狭軌、新幹線区間では標準軌用の普通列車を走らせていた。

大阪近郊区間内では一区间(140円)でルートが重ならない限り、新大阪で乗車、近江塩津・草津・柘植・奈良・王寺・和歌山・大阪下車で、一筆書きを完成させ実行した。

一人旅を続けている間、昼間は車窓から見える景色をぼんやりと眺めているのが至福であり、夜間は車中で読書に勤しんでいる。私の推薦図書として「世界の鉄道旅行案内(櫻井寛著)」「世界最悪のユーラシア横断2万キロ(下川裕治著)」などがある。(吹田支部 高木晴雄)



近税政本部のうごき

- 第1回広報委員会(7月6日)
 - 第50回定期大会・記念式典・祝賀パーティーの開催に関する件
 - 第50回定期大会提出議案(原案)の作成に関する件
 - 機関紙第217号(7月号)の批評
 - 機関紙第218号(8月号)の編集に関する件
 - 機関紙第219号(10月号)の編集企画に関する件
 - その他
- 政策・財務・組織合同委員会(7月20日)
 - 第50回定期大会・記念式典・祝賀パーティーの開催に関する件
 - 第50回定期大会提出議案(原案)の作成に関する件
 - その他
- 国対・選対・後援会合同委員会(7月21日)
 - 第50回定期大会・記念式典・祝賀パーティーの開催に関する件
 - 第50回定期大会提出議案(原案)の作成に関する件
 - その他

銀河系



選挙権年齢を「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げる改正公職選挙法が成立し、初めて7月10日投開票の参議院議員通常選挙で適用された。高齢化が進み、若者よりも高齢者の投票率が高い。およそ240万人もの18、19歳の若者が投票所へ足を運ぶことにより投票率はどれくらい改善されただろう?

そもそも、20歳代、30歳代も国家や社会の一員であることの意識を強く持つ必要がある。自身の生活だけにとどまらず、国の防衛から地域の福祉に至るまで幅広く関心を持ち、選挙を通じて政治にかかわって欲しい。将来を担う若い世代の声をこれまで以上に政治に取り入れるために引き下げられた改正公職選挙法であるが、若者の意見も取り入れて、少子化対策や財政再建を含む将来を見据えた国づくりをうまく進めてもらいたい。(和歌山支部 小西里枝)